

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月21日更新

事務事業名		図書館蔵書整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也	
	施策	21	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	村上 敦子	
	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備		所属班	図書館班	(内線)	2531	
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 11161	法令根拠	図書館法・合志市立図書館設置条例	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館資料収集基本方針及び資料廃棄基準に基づき、図書・雑誌・視聴覚資料(ビデオ・CD・DVD・カセットテープ)等の購入や除籍(廃棄)を行う。西合志館・合志館は平成7年度、泉ヶ丘館は平成9年度に閉館。閉館に先駆け、各館閉館前年度から事業を開始。開始時は資料の購入ばかりで、廃棄作業はほとんどなかったが、5~6年前から書庫がいっぱいになってきたことと資料内容が古くなり利用に供しなくなったことで、破損や紛失以外の廃棄資料数が多くなってきている。また、厳しい財政状況で資料費も削減されており、今後はより一層資料の有効活用に務めなければならない。23年度は、西合志図書館の過去3回の蔵書点検での不明本5192冊の除籍をおこなった。(この冊数は、過去一度も不明本の除籍を行っていなかった為16年間の累計である。)
【業務の流れ】	具体的な図書の発注は、業者の見計らい図書、「週刊全点案内」での選書委員会選定図書、利用者の購入希望を参考に行なっている。雑誌は休刊・廃刊になったものは別として、年に1度利用者からの要望も考慮し見直しをする。視聴覚資料については、選書委員会でリストを見ながら選定する。・除籍(廃棄)は定期的に行うものと、破損や紛失によってその都度行うものがある。
【主な予算費目】	備品購入費、需用費(消耗品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	「新刊や購入希望の本はなるべく早く提供してほしい」「合志市の図書館は充実していると思うが、本が大好きなので更なる充実を望む。」との意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)		24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
<small>*資料の購入、データ整備、資料の除籍(廃棄) (購入14,515点、除籍12,568点)</small> <small>※図書購入(継続事業)</small> 西合志館図書 4,566,100円 合志館図書 2,310,000円 泉ヶ丘館図書 356,400円		23年度と同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)点	予算の主な増減の理由
→ア:受入数	点	平成23年度は平成22年度の交付金事業を繰り越して図書購入費に充当していたため6,607千円増額となっているが実質は393千円の減。
→イ:除籍数	点	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
合志市民および図書館登録者・来館者		→ア:合志市人口 人
		→イ:図書館利用者数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
市民や利用者のニーズに応じて適正に資料を揃え管理する。		→ア:年間貸出数 点
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
・年間貸出数より、図書館資料が有効に活用されているか把握できるため。・利用が年々増加することが望ましいため。		0

各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
①活動指標	ア	点	17,246	13,786	17,000	17,955	18,000	18,000	18,000	18,000
	イ	点	8,079	8,829	9,000	15,418	9,000	9,000	9,000	9,000
②対象指標	ア	人	54,856	55,828	55,828	56,638	56,900	57,900	58,900	59,900
	イ	人	127,668	127,510	145,000	123,889	145,000	145,000	145,000	145,000
③成果指標	ア	点	624,849	631,009	635,000	613,709	635,000	635,000	635,000	635,000
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円				6,908			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	88	70	70		70	70	70
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	26,169	26,386	19,380	19,421	25,987	26,380	26,380
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	1,220	1,250	1,000	1,380	1,000	1,000	1,000
(B)人件費計	千円	4,855	5,150	4,120	5,572	4,120	4,120	4,120		
トータルコスト(A)+(B)	千円	31,112	31,606	23,570	31,901	30,177	30,570	30,570		

事務事業名	図書館蔵書整備事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 西合志図書館が蔵書点検のため前年度より13日開館日数が減っているため、目標達成できなかった。しかし、郷土資料を積極的に収集し蔵書の充実を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 システム更新のため、3館の特別休館日を数日予定している。その影響により貸出し冊数は横ばいになることが想定される。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 展示や情報提供の充実、課題解決のための配架の工夫等、利用者のニーズを的確に捉えサービスを向上させる余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒ 子どもの読書推進、地域住民の課題解決のための資料提供を目的に、地域活性化のための情報拠点として幅広い資料を収集・保存し無償で提供する事業は図書館を置いて他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 資料費の削減は、利用者に必要な「最新情報」が提供できないことに直結する。削減は行ってはならない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 図書館は教育機関であり、市が直営で運営する責務がある。市民が年齢に関係なく無償で学べる施設は図書館において他はない。アウトソーシングは考えられない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 図書館を利用する権利は市民全員にある。乳幼児・小中学生は園や学校・授業を通すことで比較的公平に受益機会がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 配架作業や資料の修理等は市民ボランティアに協力していただくことができる。しかし、選書や書架の配置、分類等は国家資格を持つ司書の専門業務である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

展示コーナーは好評で、利用し易いとの声もある。今後も、選書と併せて工夫していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 選書に偏りがなく利用者の知的要求に可能な限り応じるよう、なお一層の選書委員の質の向上に常に努める		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 司書であるという矜持を一人ひとりが意識し、日常より情報収集に努めること。																							